

## 議題「新しい学校の教育内容について」

(第4回地域協議会における意見の抜粋)

### (1) 設置学科に関する意見

#### ① 看護科に関する意見

(募集定員について)

- ・ 美馬地域に看護科を設置した場合、貞光工業高校のように、美馬市とつるぎ町からだけでなく、三好地域、吉野川市、阿波市などからも生徒が来るので、看護科の定員分の多くを美馬市とつるぎ町の高校で引き受けなくても良いのではないかと。
- ・ 国からの交付金の関係で、県教委は看護科の定員40名にこだわっているが、40名でなくても20名でも30名でも良いのではないかと。また、そうした要望をボトムアップで国に要望していくべきではないかと。

(5年間の看護教育について)

- ・ 看護科の設置となるといろいろな問題があり、失敗すれば一番被害を被るのは生徒である。仮に5年一貫の看護科が設置され、生徒が5年間というレールに乗っても、途中で挫折してしまうようなことになれば、非常にかわいそうなことになる。
- ・ 本当に看護師になりたい人にとっては、他の方法よりも、高校に入学してから5年間我慢すれば、看護師になれる方が良いのではないかと。

(看護科の設置について)

- ・ 徳島文理大学(平成20年度)、四国大学(平成21年度)に、看護師養成課程ができるという状況の変化はあるが、授業料の高い大学の看護科は無理でも、高校の看護科なら子どもを行かせられるという家庭もあるので、経済的な面からも県西部に看護科を設置して欲しい。
- ・ 国の税制問題、三位一体の改革などにより、非常に財政が厳しくなった。それによって、指導スタッフの確保、施設設備の建設などに、かなりの財政負担をともなう看護科の設置は、非常に厳しい状況にあるのではないかとと思う。
- ・ 指導スタッフの確保については、県下全域においても、特に県西部においては、医師不足、看護師不足の状況の中で、地域の医師に指導者になって欲しいとお願いしたとしても、現実問題として地域の公立病院、私立病院では、その要望に応えられないのではないかとと思う。

- ・ 看護科設置については、高校再編方針の中に検討するとあるのに、地域協議会で何も触れなかったら、地域に対する責任が果たせない。
- ・ 地域では看護師が不足しており、それで看護科設置の要望がある。一方で、看護科の設置に向けては課題もあるということで、多くの時間をかけて協議し、意見もほぼ出尽くしたのではないかと思う。地域協議会で何の協議もしなかったとなれば問題もあるが、地域としては要望したということになったのではないか。

## ② 工業科・商業科に関する意見

- ・ 工業科と商業科は、これまで通り設置して欲しい。
- ・ 工業科と商業科を設置することについては、委員のコンセンサスが得られているのではないか。
- ・ 工業科と商業科が相互乗り入れを行い、週に何時間かの選択時間を設定し、製造を学びながら流通を学んだり、流通を学びながら製造を学んだりするのが良いと思う。
- ・ 製造現場においても、お金の流れを理解していないと、コストがどれくらいかかっているのか把握できない。工業高校と商業高校が1つになるのであれば、選択制により、工業高校の持ち味を生かしながら簿記の勉強をしていくことができれば、将来、製造業で働く者にとっては非常に有利であり、就職の幅も広がるのではないか。

## (2) 設置場所について

- ・ 地元住民としては、運動場も2つある、昔の美馬商工の形が非常にありがたいと思う。場所を1つにしてしまうのか、それとも40年前の美馬商工的なものにするのか、特に美馬町、貞光（町）の人たちにとっては非常に興味がある。

## (3) 統合時期について

- ・ 統合時期を早めに決め、それに向かって議論していく必要があるのではないか。
- ・ 早く協議を終わらせて、22年や23年から再編統合に取りかかれるようにしなければならないのではないか。